

掛川市教育委員会定例会議事録

会 議 名	平成30年 8 月掛川市教育委員会定例会			
場 所	掛川市役所南館 教育委員会室			
開催日時	平成30年 8 月23日（木） 午前10時00分から午前11時28分まで			
出席者	教育長 教育長職務代理者 委員 委員	佐藤嘉晃 戸塚忠治 永田孝明 橋山鈴代 岩尾千佳子	教育部長 こども希望部長 学務課長 学校教育課長 社会教育課長 図書館長 教育政策室長 教育政策室教育政策係長 教育政策室指導主事 教育政策室主任	榛葉貴昭 高川佳都夫 中山弘一 杉浦雅美 戸塚和美夫 奥野寿夫 増田忍 水谷忠史 横井和好 石山尚哲

1 協議事項

- (1) 掛川市教育委員会の事務に関する自己点検・評価報告書について (資料1)

2 報告事項

- (1) 平成30年度キラリ！ふれあいコンサートの日程調整について (資料1)
 (2) 掛川市内小中学校のあらわれについて (資料2)
 (3) 平成30年度英語体験活動の実施報告について (資料3)
 (4) 平成30年度東海大会・全国大会出場生徒の大会結果について (資料4)
 (5) 掛川市立学校評議員の報告について (資料5)
 (6) 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について (資料6)
 (7) 小中学校・幼稚園へのエアコン設置について (資料7)

1 開 会

教育長：教育委員会 8 月定例会を開会する。

2 教育委員会 7 月定例会議事録の承認について

意見のあった箇所を訂正することとし、承認された。

3 事務報告及び行事予定報告

教育部長から事務報告及び行事予定について、主な事項の説明があった。

委員：城東学園の地域意見交換会があるが、聞きたければ出席してもよろしいか。

教育部長：出席いただいて構わない。

委員：和田岡古墳群整備委員会があるが、これも行って見えても大丈夫か。

教育部長：基本的には大丈夫。

4 協議事項

- (1) 掛川市教育委員会の事務に関する自己点検・評価報告書について
 教育政策室教育政策係長から協議資料1のとおり説明があった。

委員：課題にも出ているが、今まで傍聴者はあったのか。

教育政策係長：過去に傍聴者があったことはある。事前に申し込みをお願いしている。昨年度は傍聴なしだった。

委員：新聞社が時々来ることがある。一般市民が来るとはあまりない。

こども希望部長：一昨年前に静岡大学の大学院に通われている教員の方が一人二人、何回か傍聴に見えたことがある。

委員：傍聴の周知徹底をしていくかどうか。

教育長：学校教育課の指導主事時代から出席しているが、傍聴はここ3回くらい。子ども読書の関係と大学院の関係、申し込みがあつて来なかったケースもあった。

委員：大きな問題が起こる時にはみんなの注目度が上がるが、普段は空気のようにあるかないかわからない存在と化しているのかと思う。幼児教育の所だが、「正規職員の配置、処遇改善を進める」とある。辞める人が、他の方が待遇が良いからといって、他の市に人が流れていくのはどうか。市役所も一般的な仕事もそうだが、自分の生活を整えていける、子育てができる、家を建てて、ここに定着する人を増やしたいとするならば、正規職員としてしっかり待遇する。掛川市で働いていた男性職員が袋井市に行ってしまったことがあった。なぜか聞いたら、「向こうは正規で採ってくれて、掛川市は正規で採ってくれない。子どもを育てるためには、向こうに行かなければ」という一言が大きかった。普段のプライベートがしっかりできているから、仕事が発揮できることもある。ある程度しっかりした身分保障を与えてあげないと難しい。

こども希望部長：委員の言われたことは充分認識している。今南部の幼稚園・保育園の再編をしていて、大東・大須賀区域には公立幼稚園が8園あるが、それがこの数年間で認定こども園に変わっていく。その運営は大東福祉会、大須賀苑をお願いしていくことがあつて、そうすると幼稚園職場が減っていく。再編後には、公立は旧掛川区域のすこやか、三笠幼稚園、さかがわ幼稚園の3園だけになる。そういうこともあつて、平成25年度を最後に正規採用をやめている状況で、今非常勤の状況が5割を超えている。身分保障がきちんとできた状況で働きたいという要望もあるので、この再編にあたっては、両法人に市の幼稚園に勤務する非常勤で希望する方は、正規採用していただくようお願いしている。法人側もその件は希望に沿いたいという話をもらっている。20数人は両法人に正規採用される予定になっている。民間の正規職員として、より一層幼児教育にがんばっていただけるのではないかと期待している。

委員：この総合評価にある「市の財産を失う」という言葉は大きいと思う。民営化前提で採用を止めたこともわかっているが、その前はどうかだったかという話にもなるので、身分保障をしっかりとしていただかないと、移った時にこの人たちが安定した仕事ができないと思うので、後押しをしていただきたい。

こども希望部長：わかりました。

委員：大須賀図書館の男子トイレが和式だった。小中学生、高校生は和式を使わない子が多い。洋式を1、2箇所作ってほしい。

教育長：この前、浜松の小中一貫校を見に行った時に、トイレを見たら、和式と洋式両方あった。自分の感覚だと全部洋式で良いのではと思ったが、そうではなくて気になる子は気になるらしい。

委員：うちのお寺は建物を直した時に両方作った。洋式が駄目な子もいる。

委員：家は良いが、他では洋式が駄目な子がいる。

教育長：学校のような公共施設は両方必要になってくる。

5 報告事項

- (1) 平成30年度キラリ！ふれあいコンサートの日程調整について
学校教育課長から報告資料1のとおり報告があった。
- (2) 掛川市内小中学校のあらわれについて
学校教育課長から報告資料2のとおり報告があった。
- (3) 平成30年度英語体験活動の実施報告について
学校教育課長から報告資料3のとおり報告があった。

委員：3、4年生の参加が増えたのは、外国語活動が始まるからということか。

学校教育課長：そう思う。

委員：選抜はどうしたのか。

学校教育課長：優先順位があって、去年漏れた人を優先にするとか、6年生は優先にするとか、優先順位を付けて抽選して選んでいった。

- (4) 平成30年度東海大会・全国大会出場生徒の大会結果について
学校教育課長から報告資料4のとおり報告があった。

教育長：全国へ行ったのは陸上だけか。

学校教育課長：西中の1年生一人と桜が丘中の3年生一人が行っている。

委員：卓球王国静岡で、浜松・磐田を撃破して、東海大会へよく行けたと思う。

教育長：卓球の団体は10年以上行っていない。個人では行っている。

委員：資料に出ている子は、卓球をほとんどやっていなかった子で、中学に行って初めてやった子が多い。

学校教育課長：1回戦は勝っている。これはすごいこと。各県の上位と当たっていると思う。

- (5) 掛川市立学校評議員の報告について
学校教育課長から報告資料5のとおり報告があった。
- (6) 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について
学校教育課長から報告資料6のとおり報告があった。

委員：これは結果だが、次回はこういうふうにして上げていくとか、指導要綱があるか。

学校教育課長：ある。結果の出た後に、授業をこんなふうに変えていくという分析委員会を5回開催している。この教科はこういう所が駄目だったので、こういう授業に変えていくということを出して、各校に配ってということをやっていく。

教育長：掛川では中学校は非常に良くできている。いつも全部トップ3以内。数学は1位の所を抜いていた。ずっと良かった。今年は、課長から話があったように、6年の時も芳しくなかったが、今回中学3年になっても伸びなかった。それでも全国で見ると5番目。良い所までいっている。

委員：自分の子どもがやっているのを見ていて、数学に苦戦している様子はない。数学は楽し

くてやっているから見ていて困っていない。先生の教え方が良いのではないかと思う。先生方が改善点を見て、しっかり教えてくれているお陰だと思う。

委員：都会の方が学力が高いのはなぜか。塾で一斉テストをやると、県で何番とかが出るが、静岡県だと2番だが、東京だと200何番。でも鳥取・福井だと1番。

委員：まず人口密度が違う。競う相手が違う。

委員：だから、福井や鳥取では1番になれると思う。

委員：6年生が違うのが、幼稚園でも小学校でも試験があって上がってくる。小6になると中学校受験があるので、小4くらいから受験対策をやっている。普通は、問題用紙と解答用紙が同じで、問題の下に答えを書くが、問題用紙と解答用紙が分かれていると、小学校ではなかなかできない。小学校6年生の時の差がすごいらと塾の先生が言っていた。そういう試験のやり方を学校でやっていくように教えないとまず無理。

委員：要は計る物が全てペーパーテストになってくるので、そういうことに関する対策や慣れはある。今の子どもたちに何が足りないかというと、やはり体験。理科の授業で、観察や実験を週1回以上やっているというのが、小学校は全国より9.9ポイント高く、中学校では28ポイント高いのは、非常に好ましいこと。授業だけではなくて、普段の生活の中でいろんな物を見て観察したり、それを工夫しながら、ものづくりとか自分で作り上げる。そういった体験が今の子は非常に少ないが、掛川市がポイントが高いことは好ましいこと。観察したことを表現する。私が高校にいた時の2年間の高校入試は、理科の点数が非常に悪かった。問題そのものは悪くない。傾向が随分変わった。それを見て自分で判断して、それを表現する能力が足りなかった。進学校でもかなり低かった。

委員：知識は入っても知恵にならないということか。応用ができない。

委員：その子たちが大人になった時に、いろんな物を見ているか、体験があるか。財力があれば、小学校・中学校から海外に行くことはできるが、普通の子でいえば、田舎の山や川で体験があるかというのは、大人になってから当然生きてくることだと思う。

委員：学校視察に行って、京都の御池小中の先生が言っていたが、「私学と公立との差があまりにもはっきりし過ぎている。公立でも上の方に行く子と下の子との差。京都の文化を今から担う人たちが、これで大丈夫かを感じる。この学力・学識、知識で、これで大人になって京都が守っていけるか不安だ」とのことだった。それが私学と公立との格差。「中学校くらいから上に行く子との差があまりにも激し過ぎる」とも言っていた。都会の中でもできる子とできない子の差は大きいと思う。

委員：都会の子は、今言った体験的なことは、お金を払って体験している。

(7) 小中学校・幼稚園へのエアコン設置について
学務課長から報告資料7のとおり報告があった。

委員：年間エアコンを使う期間は。

教育部長：夏二月。冬の暖房も考えている。

学務課長：学校環境衛生基準が今年の4月1日に改正されている。その改正前までは、教室内温度は10℃以上で30℃以下となっていた。そこが一気に17℃以上、28℃以下となった。そこもすごく影響がある。改正前も改正後も望ましい温度ということで、義務規定ではない。学校と使い方のルールも決めていかないといけない。冬はインフルエンザの発生も懸念される。ハードだけでなくソフト的なことも決めることはたくさんある。

委員：リースは、毎年1億円で12年間で、ずっとエアコンを置くとなると毎年1億円ずつ掛か

ることになる。

教育部長：それに電気代、ガス代が掛かる。

委員：エアコンを入れることによって、何かをやめなければならなくなるのかが心配。

教育部長：教育委員会でも心配している。

委員：前任の松下教育委員がエアコン設置のことはずっと言い続けてきた。ここで一気に変わった。

教育部長：国も動き出したのは、豊田市で子どもさんが亡くなったことが大きかった。

委員：エアコンを付ける話は、事前に話があつてのことか。

教育部長：もちろん市長も去年からずっと考えていた。

委員：リースの方は、メンテナンスもやってくれるのか。

教育部長：メンテナンスも一緒に全部お願いする。

委員：エアコンを付けるのは良いが、掃除も大変になる。汚れたまま付けられない。

学務課長：校長先生と養護教諭と学校教育課に入ってもらって、ソフト面の検討会を設けた。その中で、養護教諭の方からエアコンを掃除しないと埃が舞うので、その辺の維持管理をお願いしたいという意見もあった。

委員：メンテナンスがきちんとできるなら、リースが高いとも言えない。

教育長：エアコンの新聞報道が出る前から、検討委員会を立ち上げて、教育委員会として準備を進めようとしていた。一気に付ける話になって、ハード面は市長部局主体で動いているが、ソフト面の子どもの健康面、どうエアコンを使用していくか管理の問題とか、そういったことについては、これから詰めていく。今年室温を測った時に、最高で37℃の学校が1、2校あった。そういう所は保護者から何とかしてほしいという声がある。

委員：保護者はエアコンを付けると1部屋30万円くらいだと思っている。このニュースが出た後に、直接自分に言ってきた人がいて、「1部屋で計算していても30万円くらいなら予算が出るのでは」と言っていたが、「一桁違う、300万円」と話したら、何も言わなくなった。エアコンを付けることがどれだけ大変なのかわかったのでは。伊豆かどこかの学校でエアコンを付けたというニュースがあった。そこは家庭用のエアコンを付けた。それでも教室の温度は下がる。それを見て言ってきたと思う。しっかり周知していかないと一般の人たちはそこをわかっていない。

教育長：スポットエアコンを最初に考えた。実際に入れている所に行ってみて試してみたが、100ボルトだとほとんど効かないことがわかった。掛川東高で200ボルトを使っていると聞いたので見てきたら、冷房ではなくて冷風機だった。これでは駄目だった。きちんとしたエアコンを付けないと効かないと思った。

委員：入札で下がるにしても1教室300万円は高い。掛川西高が校舎改修の時に、24教室にあったエアコンを付け直した。今まであったエアコンの寿命が3、4年あったが、1回外して、保管して、また取り付けても新品を買ったのと同じくらいの値段が掛かると言われた。廃棄して新品を付けた。約3,000万円。1教室100万円と少し。一気に需要が増えてしまうと入札で値段が下がらなくなる。オリンピックの需要もある。ランニングコストをどうするかもある。

6 その他

(1) 次回以降教育委員会定例会の日程等について

ア 教育委員会 9 月定例会
平成30年 9 月27日（木） 午後 1 時30分
掛川市役所南館 教育委員会室

イ 教育委員会10月定例会
平成30年10月31日（水） 午後 1 時30分
掛川市役所南館 教育委員会室

(2) 教育委員会研修視察（案）について

ア 日 程（案）：平成31年 1 月21日（月）～24日（木）のうち 2 日間
イ テーマ（案）：小中一貫校、学校施設の複合化、外国語活動、その他
ウ 視察地（案）：関東～関西

(3) その他の予定について

ア 総合教育会議
平成30年 9 月27日（木） 午後 3 時 ※定例会終了後に開催
第一委員会室

イ キラリ！ふれあいコンサート
平成30年10月25日（木）、26日（金） 午前の部 午前 9 時45分開会
午後の部 午後 1 時 開会
生涯学習センター大ホール

ウ 第12回かけがわ教育の日
平成30年11月17日（土） 午前 9 時
大須賀中央公民館

7 閉 会

教育長：教育委員会 8 月定例会を閉会する。